

笠間市都市計画マスタープラン

都市計画マスタープランとは…

笠間市のおおむね 20 年後の都市像を展望し、土地利用や都市の基盤となる施設のあり方など、計画的で効率的な都市づくりを進めていくために策定するものです。

このプランの内容は、「まちづくりの理念・目標」、「全体構想（基本となる将来像）」、「地域別構想」の3つを基本としています。

策定に当たっては、各種団体等の市民で構成する「市民会議」や市民代表・行政関係者等で構成する「策定委員会」で検討してきました。

今回掲載する内容は「全体構想（基本となる将来像）」までを中間報告としてお知らせするものです。

都市計画マスタープランの“まちづくりの理念と目標”を紹介します

計画の基本となるまちづくりの理念と目標は、市民が、暮らしの場面で「幸せ」を実感でき、笠間の魅力を創出・熟成させることで、「住み続けたい」と感じることができ、まちを創っていききたいという思いを込めて、次のように設定しました。

まちづくりの理念

かがや
ようこそ、私たちが耀く「かさま」へ

“暮らす幸せ”があるまち

暮らしの場面で「幸せ」を実感できるまちをつくります

“交流の喜び”があるまち

人と文化の交流による喜びがあるまちをつくります

まちづくりの目標

◆目標1：自然を身近に感じつつ「豊かさ」を実感できる生活環境を創造します。

3つの市街地を基本に「豊かさ」を実感できるまちづくりを進めるため、既存生活空間の整備とともに、笠間市に魅力を感じた人々が新たな営みを育む空間づくりを進めます。

◆目標2：恵まれた位置特性を生かした産業集積と地場産業の振興を図ります。

恵まれた位置特性を生かし、岩間 IC や友部 JCT 周辺での産業集積を進めるとともに、窯業や石材業等の地場産業については、生産環境の維持と交流を促進する“地域資源”として、将来においても笠間市を代表する産業として維持できる環境づくりを進めます。

◆目標3：笠間の一体性を演出し人を惹きつける「かさま魅力軸」を形成します。

国道 355 号（バイパス以外の区間）を中心に、笠間稲荷・佐白山周辺、穴戸・北山周辺、愛宕山・上郷周辺等に分布する歴史・文化、自然要素を生かした、笠間の新しい魅力づくりを進めます。

◆目標4：笠間の特性を考慮した土地利用誘導策を確立します。

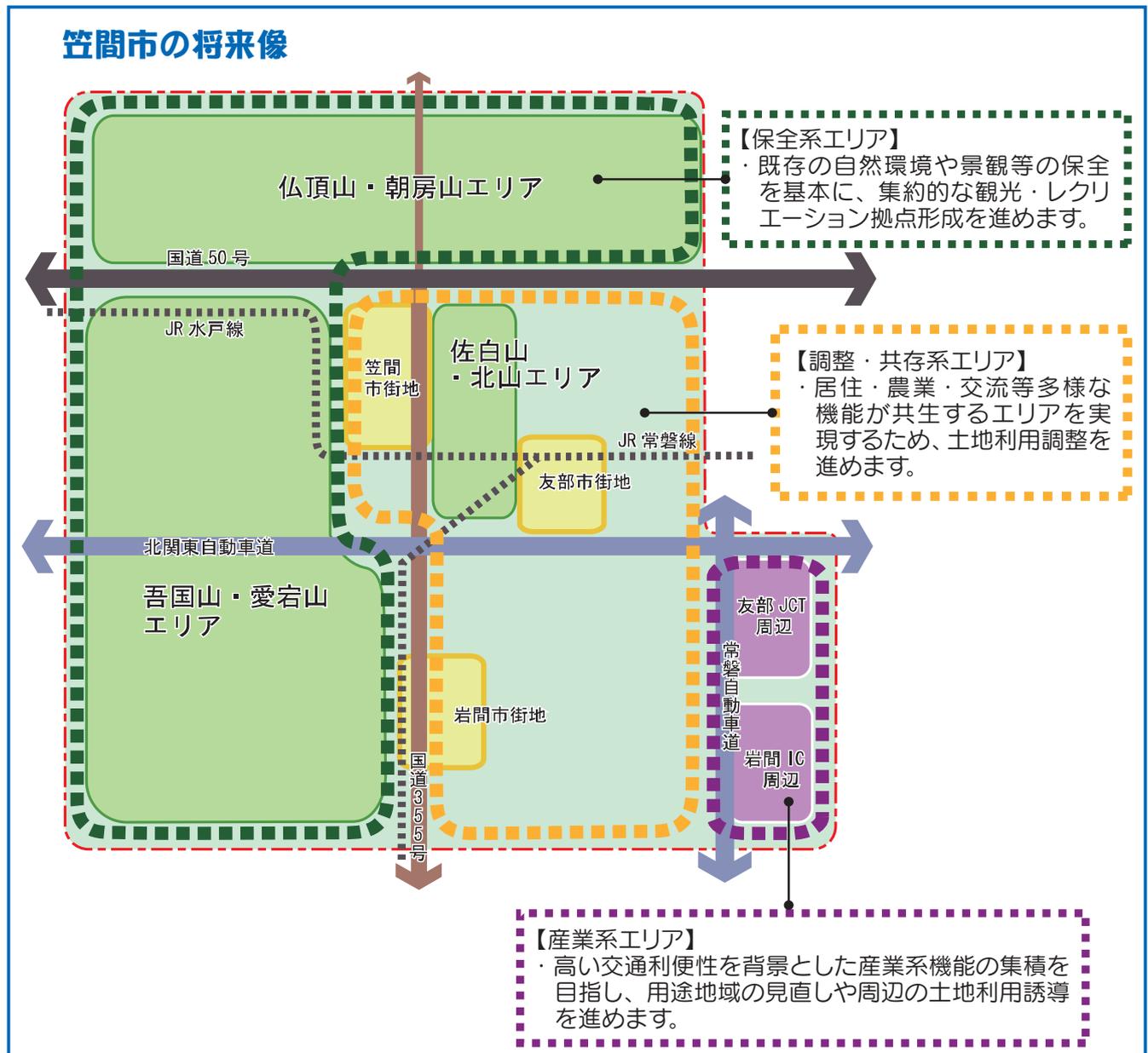
現在の土地利用の制度を基本に、地区特性や市街化動向、プロジェクト等を見極め、用途地域内外において適切な土地利用誘導と規制の方策の検討を行います。

笠間市の基本となる将来像を紹介します

笠間市は、北部と西部に山地・丘陵部が広がり、良好な自然環境が残っています。笠間、友部、岩間の各市街地は、この山地・丘陵の東端に形成され、それを結ぶ形で道路や鉄道が配置されています。

また、常磐自動車道や北関東自動車道が整備され、新たな市街地として、岩間 IC 周辺や友部 JCT 周辺に産業系の市街地が配置されています。

このような特性を基に、次のようなエリア区分を基本としたまちづくりを進めます。



これからの進め方

今後、まちづくりの理念・目標、将来像を基に、地域別の将来像を策定します。9月末からは、地域別の懇談会を開催します。開催日程については、別途「広報かさまお知らせ版」に掲載しますので、ご参加ください。

【都市計画マスタープランに対するご意見・お問合せは】

笠間市都市建設部都市計画課 (内線 586)

※全体構想の詳細につきましては、笠間市公式ホームページをご覧ください。

<http://www.city.kasama.lg.jp/>